

②-2 評価票：鼻腔内吸引（口鼻マスクまたは鼻マスクによる非侵襲的人工呼吸療法）

利用者

受講者

実施手順	評価項目		評価				
	回数		演習	()回目	()回目	()回目	()回目
	月日		/	/	/	/	
	時間		:	:	:	:	
実施準備	1	流水と石けんで、手洗いをする。					
	2	医師の指示書を確認する。					
	3	対象者本人・家族もしくは記録にて、体調を確認する。					
実施	4	吸引の必要性を説明し、対象者の同意を得る。					
	5	吸引の環境、対象者の姿勢を整える。					
	6	鼻の周囲、鼻腔内を観察する。					
	7	使い捨て手袋をする。場合によってはセッシを持つ。 (手袋する前に、必要に応じて速乾性擦式手指消毒剤で手洗いをする。)					
	8	吸引カテーテルを不潔にならないように取り出し、吸引器に連結した接続管に接続する。					
	9	吸引器のスイッチを入れる。					
	10	決められた吸引圧になっていることを確認する。					
	11	(乾燥法の場合) 吸引カテーテルと接続管の内腔を洗淨水で洗い流す。 (薬液浸漬法の場合) 吸引カテーテルの外側の薬液が残らないように、アルコール綿で先端に向かって拭き取り、吸引カテーテルと接続管の内腔を洗淨水等で洗い流す。					
	12	吸引カテーテルの先端の水をよく切る。					
	13	吸引開始の声かけをする。					
	14	口鼻マスク、または鼻マスクをはずす。					
	15	適切な長さまで挿入し、適切な吸引時間で鼻腔内を吸引する。					
	16	対象者に吸引が終わったことを告げ、喀痰がとり切れたかを確認する。					
	17	吸引カテーテルの外側をアルコール綿で拭き取った後、吸引カテーテルと接続管の内腔を、洗淨水等で洗い流す。					
	18	非利き手で吸引器のスイッチを切る。					
	19	(単回使用の場合) 吸引カテーテルを連結管からはずし、破棄する。 (乾燥法の場合、薬液浸漬法の場合) 吸引カテーテルを連結管からはずし、衛生的に保管容器に戻す。					
	20	手袋をはずす。セッシを使用した場合は元に戻す。					
	21	対象者に吸引が終わったことを告げ、喀痰がとり切れたかを確認する。					
	22	口鼻マスク、または鼻マスクを適切な位置に戻し、適切な状態に固定(装着)する。					
	23	人工呼吸器が正常に作動していること、口鼻マスク、または鼻マスクの装着がいつも通りであることを確認する。					
	24	体位や環境を整える。					
	25	対象者の顔色、呼吸状態、吸引物の量や性状を観察する。 (経鼻経管栄養を行っている場合、吸引後の口腔内に栄養チューブが出ていないか確認する。)					
	26	流水と石けんで、手洗いをする。					
	報告	27	指導看護師に対し、吸引物、吸引前後の対象者の状態等を報告する。 ヒヤリ・ハット、アクシデントがあれば、あわせて報告する。				
片付け	28	吸引びんの廃液量が70~80%になる前に廃液を捨てる。					
	29	保管容器や洗淨水等を適宜交換する。					
記録	30	実施記録を書く、 ヒヤリハットがあれば、業務の後に記録する。					
アの個数計							
評価者(指導看護師)サイン							